経　済　新　聞
（第三種郵便物認可）

「プラチナくるみん」認定取得

子育てとの両立を評価

車プレス部品の ツルタ製作所

環境保全の国際認証も

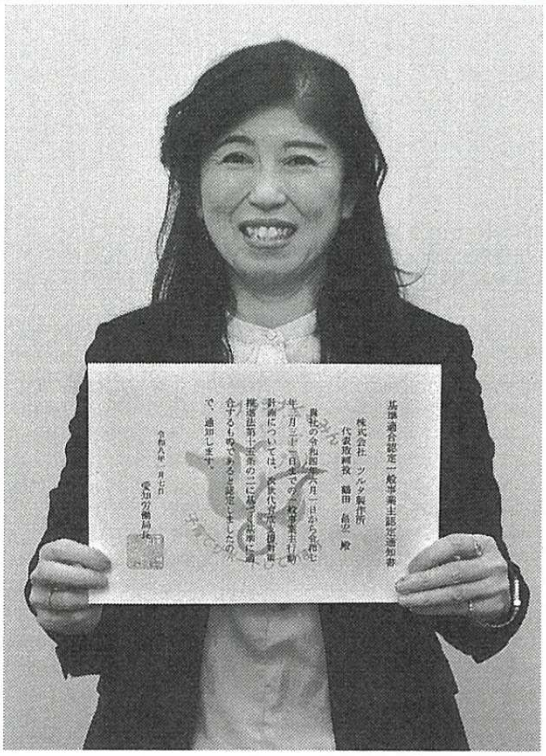
自動車プレス部品メーカーのツルタ製作所（本社刈谷市一里山町、鶴田昌宏会長・社長）は、仕事と子育ての両立支援に高い水準で取り組んでいるとして、厚生労働大臣から「プラチナくるみん」の認定を受けた。また国際的イニシアチブ「SBT-i」から二酸化炭素（CO_2）削減目標を承認され、SBT認定も取得した。いずれも1月中の取得で、社員数約270人の中小企業が両認定を同時期に受けるのは珍しい。（鈴木隆宏）

ツルタ製作所は27年前から社員の子育てサポートへの取り組みを開始。2022年にくるみんの認定を受けている。プラチナくるみんはくるみんより認定のハードルが高く、愛知県では25年12月時点で37社しか認定されておらず、多くは大企業が占める。

ツルタ製作所では男性社員の育児休業取得率100%達成や小学校3年生以下の子育て中の社員向けの時短勤務制度の整備、有給休暇の取得日数を年間7日以上に定めるなどしてきた。こうした取り組みが評価された。

またSBTは、SBT-iが示す方針に沿った環境保全に向けてのターゲットを決めて、認定を受ける。現状のCO_2排出量や電気の使用量などを把握した上で、実現可能性も示す必要もある。このため中小企業で認定の取得を受けているところは少ないという。

鶴田会長・社長は「プラチナくるみんを取得することで、採用にプラスに影響する。またSBTの認定を受けたことで、今後の受注活動にもかかわってくる」と話した。採用活動や受注活動に力を入れていく方針だ。



「プラチナくるみん」の認定通知証

中部経済新聞
2026.01.28